

# 課所室業務棚卸総括表

平成16年度(前期)行政経営会議用 様式2

年度	16	部局	課所室	担当(係)	作成者(職)	(氏名)	(連絡先)	棚卸表コード	No.
作成日	7月8日	環境部	環境業務課	業務・収集担当				2環業01	10

業務名称	一般廃棄物(家庭系ごみ)の収集業務	成果指標	実績(H15)	目標(H17)	人工数(人)	予算(千円)
上位目的	家庭から排出されたごみを迅速かつ効率的に収集し、市民の利便性を向上させることができる。	収集業務・収集システムに関する苦情件数	45件	20件		
担当業務目的	家庭から排出される一般ごみ・資源化物の効率的かつ安定・安全収集を行う。	事故発生率 件数 / 収集日数	4.70%	0%	86	739,739

活動概要(担当業務目的達成のための手段(2桁レベル))				事業費(千円)	備考欄
活動における指標	実績(H15)	目標(H17)			
担当業務目的達成のための主な手段(4桁レベル)					
01 安全動作の励行による円滑なごみ収集作業の実施				605	<ul style="list-style-type: none"> <li>事故による作業の中断は、非効率かつサービスの低下につながる。また、交通事故は市民に多大な損失を与え、信用信頼を失う。</li> <li>実績(H16)交通事故9件・作業中のけが4件となっている。</li> <li>目標(H17)交通事故・けが「ゼロ」を目標に取り組みする。</li> <li>平成17年度も引き続き、安全作業の確立を重点とした、職員研修の充実を図っている。(事業費はごみ収集運営費・自賠責保険・指導者講習会・書籍・他)</li> </ul>
交通事故と作業事故(けが)の発生件数	12件	0件	<ul style="list-style-type: none"> <li>一般ごみ・資源化物の収集。</li> <li>収集作業員の安全教育の充実を図る。</li> <li>ア.異動者を対象とした職員研修</li> <li>イ.安全衛生委員会の活用 ウ.健康管理</li> </ul>		
02 ごみ集積所の実態調査(危険箇所・美観)および改善指導				0	<ul style="list-style-type: none"> <li>交差点など危険箇所に設置されているものや、美観上問題があると判断した場合、当該町内会に対して改善の協力を要請している。</li> <li>改善を要するごみ集積所1,535箇所については、H14年度からの3ヶ年計画で16年度末で調査、改善指導を終了した。</li> <li>H16年度末の調査、指導実績1,535箇所=改善数1,056箇所。</li> <li>平成17年度は協議継続中のものについて、町内指導をする。(集積所改善は17年度以降も日常業務として対応する。)</li> </ul>
集積所の改善数	549箇所	820箇所	<ul style="list-style-type: none"> <li>ごみ集積所の実態調査</li> <li>町内会への改善要請</li> </ul>		
03 直営収集業務の民間委託化				388,045	<ul style="list-style-type: none"> <li>ごみ収集車両は、平成17年4月から直営車両4台委託。</li> <li>秋田地区は、直営17台委託28台で行なっている。更に市町合併による河辺地区1台、雄和地区1台の委託を含め直営17台と委託30台の計47台で行っている。</li> <li>委託化計画</li> <li>18年度から直営車両の更新に合わせ年3台~4台を委託予定、22年度で終了予定。(事業費は現在の委託料)</li> </ul>
段階的な移行計画の確定。(委託車両数)	24台	27台	<ul style="list-style-type: none"> <li>直営収集体制の見直し。</li> <li>収集区域および収集車両数の確定。</li> </ul>		
04 粗大ごみ戸別収集				49,438	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者社会への対応と、ごみ減量対策・受益者負担の公平性からシステムを継続する。(16年度粗大ごみ証紙売り上げ26,193千円)</li> <li>粗大ごみ収集事業=委託料 回収車両4台・受付3名</li> </ul>
回収量の実績	805t	840t	粗大ごみ戸別有料収集		

活動概要(担当業務目的達成のための手段(2桁レベル))			実績(H15)	目標(H17)	事業費 (千円)	備考欄	
活動における指標							
担当業務目的達成のための主な手段(4桁レベル)							
05資源化物の回収					227,531	<ul style="list-style-type: none"> <li>資源を有効に活用するため「資源化物」として分別回収している。</li> <li>古紙回収協会へ回収経費の助成</li> </ul>	
金属類・ペットボトル・空きびん・空きかん・古紙類の回収量		15,870t	16,376t				
資源化物回収量	空きびん空きかん	4,507t	4,600t				
	古紙類	10,053t	10,450t				
	金属類	472t	480t				
	ペットボトル	812t	820t				
	スプレーカン乾電池	26t	26t				
06収集車両の維持管理					74,120	<ul style="list-style-type: none"> <li>直営車両は毎日17台が稼働している。故障等で稼働できなくなると市民サービスの低下につながる。日常点検と早期の整備による全車稼働を行う。</li> <li>6年目車両の総合的な整備と、10年目車両の整備を行う。</li> <li>燃料・支給品・消耗品他。</li> </ul>	
直営車両の稼働台数		収集日数・年×稼働数21台・日 =		5,376台			5,397台
計画整備の実施と不具合の早期修繕。 ごみ収集業務の運営管理							